

バーコードから見た物価ダイナミクス

渡辺 努

一橋大学 経済研究所 教授

齊藤有希子

富士通総研経済研究所

Abstract

経済学，特にマクロ経済学では，景気循環などの経済変動を理解したり，金融政策の効果を理解する上で，価格と名目賃金の粘着性（硬直性）が重要であると指摘されてきた。しかし現実の経済で，価格や賃金がどの程度粘着的なのか，なぜ粘着的なのかといった点についてデータを用いた検証作業は十分に行われてこなかった。そうした研究が開始されたのはここ数年のことである。本研究では，メニューコスト仮説を念頭に，スーパーマーケットのレジで記録される価格情報（POS データ）を用いて検討を行う。具体的には，（1）小幅な価格変化の発生頻度が低いか否か，（2）価格の更新間隔と変化幅の関係，を中心に分析結果を示す。